



2022年6月3日

各位

会社名 東洋刃物株式会社
代表者名 代表取締役社長 清野芳彰
(コード番号 5964 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理部次長 保原晶
(TEL (022) 358 - 8911)

2023年3月期通期連結業績予想の公表及び中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2023年3月期の業績予想を公表すること、及び2020年3月27日に公表し、2021年5月14日に見直しを行った中期経営計画(2020年4月～2023年3月)につきまして、再度見直しをすることを、本日開催の取締役会において決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期の連結業績予想について

(1) 2023年3月期の連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	5,310	279	260	190	—
減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期通期実績 (2022年3月期)	5,185	348	925	471	329.11

(2) 修正の理由

2023年3月期の連結業績予想につきましては未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき上記の通りに公表いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による製造設備の輸送及び出向予定社員の査証取得の遅延等による杭州東洋精密刀具有限公司の操業の一部に遅延が生じております。また、生産見直し活動の推進により原価率の低減を図っている一方で、ロシア・ウクライナ情勢等を背景に原材料、消耗副資材、電力等の資源高騰が利益を圧迫するなど、厳しい状況が続くことが予想されます。

2. 中期経営計画の見直し

(1) 中期経営計画の期間

中期経営計画は、2020年4月1日から2023年3月31日までの3カ年計画で変更ありません。

(2) 数値目標

当社といたしましては、「1. (2) 修正の理由」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大やロシア・ウクライナ情勢による影響を考慮すると、中期経営計画の最終年度となる2023年3月期の中期経営計画の達成は困難であると判断し、上記の2023年3月期の業績予想のとおり修正いたします。見直し後の中期経営計画は、計画最終年度の2023年3月期において、連結売上高は2020年3月期の4,920百万円から390百万円増の5,310百万円、同営業利益は164百万円から115百万円増の279百万円、同率は3.3%から2.0ポイント改善の5.3%を、同経常利益は120百万円から140百万円増の260百万円、同率は2.4%から2.5ポイント改善の4.9%を、親会社株主に帰属する純利益は68百万円から122百万円増の190百万円、同率は1.4%から2.2ポイント改善の3.6%を、また生産性及び効率的な資産運用が重要との認識のもと、総資産利益率（ROA）を継続して展開し5.0%以上を目指してまいります。

単位：百万円

連結	2020年3月期 (実績)	2023年3月期 (計画最終年度)
売上高	4,920	5,310
営業利益	164	279
同率	3.3%	5.3%
経常利益	120	260
同率	2.4%	4.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	68	190
同率	1.4%	3.6%
総資産利益率	1.8%	5.0%以上

注：総資産利益率は、経常利益ベース

(3) 重点施策

当社は、本中期経営計画を、2025年に迎える創立100周年へ向けた成長の基盤として位置付けており、その基本目標を達成するために(1)収益性・市場性を念頭に置いた事業ポートフォリオを改めて見直したうえで、情報産業用刃物、製紙パルプ用刃物、精密部品関連を最重点品種とし、(2)生産性を重視した生産体制の構築、並びに(3)研究開発への設備投資及び早期製品化に重点的に取り組んでおります。また、環境問題への取り組みを強化するため、当社グループの緑化事業を通して、CO2削減等環境対策への取り組みの継続に加え、産学共創のプログラムに参画し、SDGsへの取り組みを実施しております。

以上